

化学物質安全性(ハザード)評価シート(要約版)

整理番号	2001 - 37	官報公示 整理番号	3 - 1362 (化審法) 1 - 251 (化学物質管理促進法)	CAS 番号	61789 - 80 - 8
名 称	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウムクロリド 別名 : DTDMAC		構 造 式	$\left[\begin{array}{c} \text{CH}_3 \\ \\ \text{R}-\text{N}-\text{R} \\ \\ \text{CH}_3 \end{array} \right]^+ \text{Cl}^-$ <p>R は主として C₁₆ または C₁₈ のアルキル基</p>	
分子式	C ₃₈ H ₃₀ ClN (C ₁₈)		分子量	586.52 (C ₁₈)	
本評価シートでは DTDMAC 及びその主成分であるジステアリルジメチルアンモニウムクロリド(DSDMAC, C ₁₈)について記載した。その物質名をカッコ内に明示した。					
市場で流通している商品(代表例) ¹⁾ 純 度 : 不明 不純物 : 不明 添加剤または安定剤 : 不明					
物理・化学的性状データ 外 観 : 固体 (C ₁₈) ²⁾ 融 点 : 67 (C ₁₈) ³⁾ 沸 点 : 文献なし 引 火 点 : 文献なし 発 火 点 : 文献なし 爆発限界 : 文献なし 比 重 : 文献なし 蒸気密度 : 該当せず 蒸 気 圧 : 3.5 × 10 ⁻¹⁵ Pa (2.6 × 10 ⁻¹⁷ mmHg) (25) (C ₁₈) ²⁾ 分配係数 : log Pow ; 3.80 (実測値)(C ₁₈) ^{2,3)} 加水分解性 : 加水分解を受けやすい化学結合なし 解離定数 : 文献なし スペクトル : 主要マススペクトルフラグメント 文献なし 吸脱着性 : 土壌吸着係数 K _{oc} ; 1 × 10 ¹⁰ ²⁾ 粒度分布 : 文献なし 溶解性 : 水に不溶 ²⁾ 換算係数 : 該当せず					

総合評価

1) 危険有害性の要約

本物質の経皮吸収はごくわずかであり、ヒトでの皮膚刺激性及び皮膚感作性は陰性であるが、実験動物では本物質の眼と皮膚に対する刺激性の報告がある。実験動物の反復経口投与毒性で副腎、胃、肝臓、腎臓、腸間膜リンパ節への影響が報告されている。変異原性・遺伝毒性では、*in vitro* 試験で陰性の報告がある。発がん性に関する報告はない。生殖・発生毒性では、経皮投与の報告で影響はみられていない。

本物質は環境中に放出された場合、水圏では生分解されやすい。環境省のモニタリングデータはない。水圏環境生物に対する急性毒性は強い。特に、藻類及び甲殻類では非常に強い。

2) 指摘事項

- (1) 水圏環境生物に対する急性毒性は強い。
- (2) 化学物質管理促進法の第一種指定化学物質に指定されており、排出量の管理が必要である。

参考資料

- 1) (社)日本化学工業協会調査資料 (2001).
- 2) Hazardous Substances Data Bank (HSDB), U.S. National Library of Medicine (2001).
- 3) PhysProp Database, Syracuse Research Corporation.